

けんぶち ふれあいネットワーク 社協だより

2017年2月

No. **88**

発行

社会福祉法人
剣淵町社会福祉協議会

〒098-0338 上川郡剣淵町仲町28番1号 ふれあい健康センター内 Tel 0165-34-3922



主な内容

みんなと食べるごはんは「おいしい」

ふれあい昼食会は、バランスのとれた食事を
食べながら、交流を深める場となっています。

平成 29年 2月7日 剣淵高校体育館で開催

- ・会長年頭あいさつ
- ・第3回ボランティア研修・交流会
- ・ふれあい昼食会スナップ
- ・いきいきルームクリスマス会
- ・ふれあい昼食会 (28.11.8)
- ・剣淵高校でふれあい昼食会 (29.2.7)
- ・ご寄附をいただきありがとうございます
- ・赤い羽根共同募金結果報告
- ・歳末たすけあい募金 結果報告
- ・小地域ネットワーク活動
- ・ホームページが完成しました



会長 年頭あいさつ

“定款の変更で社協の役割

責務はますます大きなものに”

社会福祉法人 剣淵町社会福祉協議会 会長 齊藤 實

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで、すがすがしい平成29年を迎えられたことと思います。

昨年は、前線の影響による局地的な集中豪雨と4つの台風の上陸は、北海道に甚大な被害をもたらしました。剣淵町でも7月31日から8月1日にかけて集中豪雨により数世帯が避難を余儀なくされ、さらに田畑の冠水、道路の損壊、中小河川の氾濫、がけ崩れなど、大きな被害がありました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

日頃、町民の皆様には社会福祉協議会の運営をはじめ、各種事業やボランティア活動等に深いご理解とご協力、ご支援をいただいております。この場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

本会は、町民の皆様の社会福祉に寄せる熱い思いと期待、そして助け合いの精神によって支えられ成り立っています。今後もこうした町民の皆様の負託に応えられるよう、温かく優しい地域社会の構築に取り組んでいきたいと思ひます。

昨年3月、国は社会福祉法を改正し、各種福祉施設や社協など全国の社会福祉法人を対象に社会福祉法人制度改革に着手しました。今回の改正でこの法人の一員でもある社協は、高い公益性が求められる社会福祉法人としての位置づけから、組織のカバナンス強化と事業経営における透明性の向上を強く求められることとなりました。特に社協運営にあたる執行機関としての役員（理事・監事）や議決機関となる評議員の権限、役割、責務、定数、任期、選任・解任方法等が法律に規定されました。

この改正により本会の定款と諸規程も大幅に変更されることとなり、昨年12月16日に開催された理事会、評議員会でこれら定款等の変更が承認され、本年4月から施行されることとなりました。これにより、社協は、迅速な意思決定と与えられた権限、責任で地域の福祉ニーズを的確に捉え対応していかなければならず、その役割、責務はこれまで以上に大きくなりました。

少子高齢化、人口減少社会、団塊の世代が75歳に到達して迎える大介護時代、高齢者の定義問題など、ますます多様化、複雑化していく福祉課題、地域課題に対応すべく、社協は様々な事業や活動を展開し地域福祉を進めなければなりません。計画から4年目を迎える社協の地域福祉実践計画は、基本理念でもある「助け合い…思いやりのあるまち…剣淵町」を目指して、これからも町行政をはじめ、町内福祉関係団体等と連携し地域福祉の推進、充実に努めたいと思ひます。そのためには、社協に対する町民の皆様の絶大なるご支援と、社協運営や各種事業、各種活動への積極的な参画が必要不可欠です。

社協は、地域福祉の担い手として、高齢になっても自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、支えあいのできる温かく優しい地域社会の構築のために役職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

今後とも町民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

剣淵町社会福祉協議会

役員

《会長》

齊藤 實

《副会長》

柴田 泰成

《学識経験者》

西崎 則義

《民生児童委員協議会会長》

《理事》

後藤 強

《JAきたひびき副組合長理事》

浅野 徳松

《老人クラブ連合会副会長》

渡辺 一美

《剣淵北斗会理事》

畠山 宏美

《自治会連合会推薦》

二階堂 敏子

《剣淵商工女性部部長》

足立 美代子

《赤十字奉仕団委員長》

藤原 光男

《剣淵商工会 会長》

小田 誠二

《身体障害者福祉協会 監事》

半沢 重義

《保護司》

《監事》

畠山 信

《剣淵北の社会施設長》

梅基 文子

《民生児童委員協議会副会長》

第3回 剣淵町ボランティア研修・交流会 ～お互いに幸せになる活動を目指して～

ボランティアセンター運営委員会（中上勝也委員長 委員七名）が企画・運営した「第3回ボランティア研修・交流会」が10月25日（火）、一般参加者、サロンサポーター、赤十字奉仕団、町関係者等26名が参加され開催されました。

講師として、旭川レクリエーション協会、山田輝昭さんを招き、ボランティアの起源、語源。コミュニケーションのポイント、傾聴の意味やボランティアの原則、活動の心構えを学びました。

レクリエーションも実践し、頭で考え、適度に体を動かし、参加者も楽しんでいました。



お手玉を使った手遊び



よく聴き、よく理解し、コミュニケーションを持ちましょう。



皆さん体を動かしています

ふれあい昼食会

11月8日（火）ふれあい健康センターにて開催し68名の方が参加しました。ふれあい昼食会に参加された皆さんで、クリスマスの飾りを作りました。



皆さんでクリスマスの飾りを作っています。

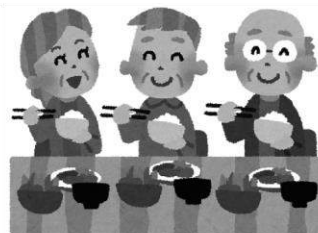


《本日のおしながき》

しゃけ寿司 煮物 豚肉ひとくちカツ
ほうれん草の和え物 お漬物 すまし汁 です。
赤十字奉仕団の皆さんの手料理をいただきます



みんなと一緒に食べる昼食は
「おいしい」ですね。



剣淵高校で「ふれあい昼食会」

2月7日（火曜日）、80歳以上の同居の方々を対象として「ふれあい昼食会」を剣淵高校体育館にて開催されました。

生徒の皆さんが用意してくれたレクリエーション「みなさん！お絵かきですよ」と、大きなアルパカのパズルを行いました。高校1年生とのふれあいながら、給食をいただきました。

剣淵高校の生徒の皆さん、教員の方々、本当にありがとうございました。



「みなさんお絵かきですよ」が始まりました。



どんな絵柄が完成しますか・・・？



「ぷっちゃん」が完成しました。



お話をしながら楽しく給食を食べました。



きれいなペチュニアの花をいただきました。

いきいきルーム クリスマス・忘年会 ～わきあいあいと交流～

12月21日（水）に、恒例の「いきいきルーム クリスマス・忘年会」を開催しました。利用者、ボランティア、ヘルパーの皆さんがおいしい料理を頂きながら、ゲーム等を行い、楽しんで過ごしていました。



クリスマスリースを作りました



あたたかい鍋料理を
美味しくいただきました



箱の中身は何でしょうか？

福祉のためにご寄附を頂いた方々温かいおもいやり ありがとうございます

剣淵中学校より



10月14日に、学校祭で行われた、フリーマーケットの益金を、ご寄附していただきました。

けんぶち七宝あじさい会より



10月18日、ご寄附していただきました。

剣淵町ライオンズクラブより



12月9日
歳末たすけあいのご寄贈、ありがとうございます。

北海道コカコーラボトリング株式会社より



12月16日に、コカコーラ製品18箱450本を、
ご寄贈いただきました。

ご支援・ご協力ありがとうございました 平成28年度 赤い羽根共同募金 結果報告

剣淵小学校より

「じぶんの町を良くするしくみ」



11月17日に剣淵小学校児童会から、斉藤会長に学校募金が手渡されました。

昨年10月から始まりました「赤い羽根共同募金運動」に心温まる善意の募金を寄せられました町民の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

赤い羽根共同募金は「自分の町を良くするしくみ」と言われています。寄せられた募金が北海道共同募金委員会を通じて様々な福祉活動や被災地支援に役立てられる一方、そのほとんどが配分金として地元に戻され、町民の皆様のさまざまな活動助成や地域福祉活動に活用されています。

| 区分 | 募金額 | 内容 |
|-------|------------|-------------------------------|
| 戸別募金 | 308,700円 | 自治体を通じて1戸@300円の募金にご協力いただきました。 |
| 大口募金 | 580,000円 | 個人と企業や商店を対象とする篤志募金です。 |
| 学校募金 | 12,271円 | 小学校の児童・中学・高校の生徒さんからの募金です。 |
| 職域募金 | 116,980円 | 企業、団体、官公庁等の従業員の皆さんからの募金です。 |
| 募金箱他 | 3,965円 | 絵本の館、農協、郵便局、ひらなみ荘、北の杜舎、社協の募金箱 |
| 自動販売機 | 60,314円 | 赤い羽根自動販売機利用の配分金として受けております。 |
| 合計 | 1,082,230円 | |

共同募金の使い途

| | | | |
|--|----------|----------------|----------|
| ○全道各地の福祉活動に助成 | 180,000円 | | |
| 道内各地の施設の運営や在宅福祉活動の推進、ボランティア活動推進のほか、災害時には被災地支援・ボランティアセンター設置・運営等にも使われています。 | | | |
| ○町内の福祉活動に使用 | 902,230円 | | |
| ・老人福祉に助成（敬老会助成） | 356,230円 | ・総合福祉助成（広報誌発刊） | 210,000円 |
| ・児童・青少年育成（子供会助成） | 42,000円 | ・募金経費 | 74,000円 |
| ・体験・交流等（ふれあい広場助成） | 220,000円 | | |

ご支援・ご協力ありがとうございました 平成28年度 歳末たすけあい募金 結果報告

12月からご協力をお願いしておりました「歳末たすけあい募金」につきましては、町民のみなさまのあたたかいご支援を・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

歳末たすけあい募金は新たな年を迎えるにあたり、全町民が明るく安心して年を越せるように、住民相互が助け合う募金です。寄せられた募金は、民生児童委員協議会の意見をもとに、共同募金委員会で慎重に助成先を審議し、年末に助成金としてお届けいたしました。



歳末たすけあい募金の助成先

| 区分 | 件数 | 金額 0 |
|------------|----|---------|
| 独居老人世帯 | 3 | 48,000 |
| 母子世帯 | 5 | 130,000 |
| 低所得者世帯 | 1 | 16,000 |
| 地域生活障がい者 | 31 | 177,000 |
| 福祉施設 | 4 | 175,000 |
| 地域福祉活動支援 | 1 | 60,000 |
| 計 | | 606,000 |
| 助成経費・翌年度繰越 | | 169 |

歳末たすけあい募金結果報告

| 募金協力団体等 | 募金額 |
|--------------------|---------|
| 剣淵町議会議員協議会 | 20,000 |
| 剣淵町農業委員会委員 | 12,000 |
| 剣淵町教育委員会委員 | 5,000 |
| 剣淵町自治会連合会 | 11,000 |
| 剣淵町民生児童委員協議会 | 13,000 |
| 北ひびき剣淵基幹支所役員親睦会 | 12,114 |
| 北ひびき農協剣淵基幹支所職員 | 7,000 |
| 剣淵商工会役員 | 13,000 |
| 剣淵ライオンズクラブ | 34,755 |
| 剣淵町老人クラブ連合会 | 12,000 |
| 剣淵町赤十字奉仕団 | 12,700 |
| 剣淵郵便局職員 | 2,265 |
| 北星信用金庫剣淵支店職員 | 1,857 |
| (株)レークサイド桜岡職員 | 2,000 |
| 剣淵北斗会役員 | 9,000 |
| 剣淵西原学園職員 | 32,000 |
| 剣淵北の杜舎職員 | 30,000 |
| 剣淵ひらなみ荘職員 | 30,000 |
| グループホームしおり | 17,000 |
| 剣淵小学校教職員 | 6,145 |
| 剣淵中学校教職員 | 2,390 |
| 剣淵高等学校教職員 | 4,016 |
| 剣淵町役場職員 | 72,114 |
| 剣淵町高齢者事業団役員 | 12,000 |
| 剣淵町社会福祉協議会役員 | 16,000 |
| 剣淵町社会福祉協議会職員 | 11,000 |
| 戸別募金(@200円×1,029戸) | 205,800 |
| 前年度繰越金 | 13 |
| 合計 | 606,169 |

小地域ネットワーク活動とは・・・？

住み慣れた地域で「安心して安全に暮らせる地域社会創り」につなげる事業を進めていきます。各地域で見守り、声掛け、援助活動などを福祉委員が中心となり自治会、地域の人たちの協力を得ながら住みよいまちづくりを目指します。

この活動には、「ニーズを発見する機能」と「助け合いをする機能」があります。身近な方や近所の方の見守りや声掛けで、安否確認を行い生活や健康上での変化に気が付くことが出来ます。また、ふれあいサロンの開催、自治会交流会等への招待などの期待をされています。



平成29年 福祉委員 ご紹介（敬称略）

| | | | |
|-----|--------|-----|-------|
| 西町 | 久保 章子 | 南桜町 | 安田 英司 |
| 緑町 | 細田 和子 | 西岡町 | 菅原 宏文 |
| 仲町 | 山田 博子 | 西原町 | 工藤 琢己 |
| 元町 | 小笠原 里美 | 東町 | 安田 平作 |
| 屯田町 | 高橋 正市 | 藤本町 | 櫻井 公喜 |
| 旭町 | 真鍋 敏雄 | | |

「ふれあいサロン」をつくりませんか？

ふれあいサロンは剣淵町内5つの地区で開催されています。ご相談は、社会福祉協議会、地域包括支援センターへ

つえ・アイスピックの助成

高齢者や身体が不自由な方に「つえ」と「アイスピック(冬期杖の先につける滑り止め)」の購入の助成を行います。利用を希望される方には、半額助成で現物をお渡しいたしますので、自己負担金をご持参の上、社協事務局までお越しください。

☆自己負担額 つえ 700円 アイスピック 500円

ホームページが完成しました

昨年の10月に、剣淵町社会福祉協議会のホームページが完成しました。社協の事業内容、経営状況、年3回発刊している「社協だより」も閲覧していますので、ぜひご利用ください。

ホームページアドレスは「<http://kensyakyo.ec-net.jp/>」です。

北海道社会福祉協議会のホームページからも開くことが出来ます。



「けんぶち社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています